

令和6年度 第1回天王寺区教育会議（会議要旨）

日 時：令和6年9月27日（金）19時00分～20時10分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：〔学校協議会〕

井澤委員（夕陽丘中）、西川委員（真田山小）、鳥山委員（天王寺小）、
友田委員（真田山幼）、鈴木委員（味原幼）

〔区政会議子育て・教育班〕

大野委員、岡崎委員、栗谷委員、平嶋委員、平田委員、山田委員、吉田委員

〔学校〕山西校長（桃陽小）、神田校長（夕陽丘中）、厚地園長（真田山幼）

〔区役所〕末村区担当教育次長、丸谷区教育担当部長、原田区教育担当課長、

寺戸区教育担当課長、近藤区教育担当課長代理、草川区教育担当課長代理

傍聴者、報道関係者：なし

○天王寺区の教育に関する取組について

資料「天王寺区の教育に関する取組について」により原田区教育担当課長より説明

○委員意見及び回答（学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）、社会教育関連の取組）

【学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）について】

学校1

・区小学生交流会等により、学校を超えた交流が盛んになっている。継続してもらいたい。

学校2・3

- ・子どもサポートネット事業では地域とどのように連携しているのか。
- ・不登校の問題について、一人ひとりに応じた居場所を考えていく必要がある。
- ・区独自のSSW採用に伴い相談数が増えるのでは。まだ見つけられていない案件があるので、SSW増員で相談環境が充実したと思う。
- ・いじめや不登校、SNSトラブルなど子ども達を取り巻く問題が多いので、SCの拡充や、生徒がSNSの使い方を学ぶ機会を与えてほしい。

→支援が必要な子どもについて民生委員が情報を得た場合、SSWに情報共有することや、SSWから民生委員の方などにたいして、情報共有を働きかける体制をととのえている。

→大阪市では、中学校の不登校割合は全国平均より高く、課題と認識している。SNSトラブルは社会問題化しており、ご意見を各校園に周知してまいりたい。

学校 4

- ・学校図書館の貸出数が減少しているが、どのように捉えているか。
- ・もともと学校図書館の予算規模は大きく、さらに増加しているが、もっと深刻なところの予算に活用することはできないのか。
- ・学校図書館活用の予算だけ他と比較して予算が多いのは何故か。

→家庭内ではタブレットを活用して読書活動を行っている児童生徒もいると聞いている。

→学校図書館の予算は 24 区分を掲載しており、大部分が配置しているスタッフの費用となっている。

学校 5

- ・海外転入者が増加しているなか、外国語サポーターのニーズはますます高まると考える。
- ・外国語サポーターについて、この派遣状況で足りているのか。
- ・海外出身の方と意思疎通するのは難しい。都度、外国語サポーターを派遣することが難しいのであれば、保護者の方に集まっていただき、保護者向け講座を行ってはどうか。

→学校の先生はスマートフォンの翻訳アプリで対応している状況で、実際のところは足りていないと認識している。保護者のニーズに応じた外国語サポーターの派遣も実施しているが、市教委と連携を図りながら対応を進めてまいりたい。

【社会教育関連の取組について】

社会 1

- ・多文化理解事業について、実施校にばらつきがあるので、平等な教育のためにも、全校で実施すべき。
- ・多文化理解事業について、引続き多くの小学校で実施してほしい。

→毎年丁寧に学校と連携・調整し、1 校ずつ実施校を増やしている。将来的には区内全校で実施できるように取り組んでまいりたい。

社会 2

- ・ジュニアクラブは良い取組だと思うが、対象が小学校 4 年生から高校生と年齢の幅が広い。年齢に合わせて実施テーマを変えているのか。学年に応じた実施テーマにできれば、中高生の参加者も増えるのではないか。

→学年別のテーマで実施はしていないが、会員が次世代の担い手として、主体的に行動できるよう働きかけていく。

社会 4

- ・子どもの居場所について、実態があまり分からない。もっと周知をしていてはどうか。
- ・生活支援より学習支援がメインになっているのでないか。生活支援が必要な子どもにも注意を向けるべき。
- ・民間事業者を活用した小・中学生学習支援事業について、定員により、事業を活用出来ないことはあるのか。

→身近に学校以外の居場所があるということを知ってもらうべく、リーフレットを学校で配付している。学習支援を切り口に生活支援を行っている事例が多いと認識している。今後情報周知に取り組んでいく。

→定員による募集制限はある。

社会 5

- ・防災教育について実施校にばらつきがあるので、平等な教育のためにも全校で実施すべき。
- ・防災教育について、ある地域では、地域と学校が別々の日に防災に関する取組をしている。防災意識を高めるためには、同日開催が必要ではないか。

→いただいたご意見を、担当部署、学校及び地域に周知してまいりたい。

その他の意見

- ・近年の子どもには、達成感を学べていないと感じる。
天王寺かぶらを種から栽培するなど、子どもに感動を与える教育を推進してほしい。
- ・子どもの体力向上に取り組んでほしい。
真田山小学校では、児童数が多く、休み時間に全員が運動場で遊ぶことができない。
一方で近くの真田山公園でも、人数が多く、思い切り遊べるスペースはない。
区としても、サポートしてほしい。
- ・運動場について、近年は熱中症予防の観点から、気温が高い日は使用できない。
一方で、小学校の体育館は空調が無く、体育館でも運動が出来ない状況である。
- ・中学校の部活について、自分が希望する部が無いことが多い。
区として、サポーター推進に取り組むなど、取り組んでほしい。
- ・天王寺区の子どものために、自身の資格を活用し、また自費で不動産を借りて、憩いの場所を運営したいと考えている。ここでは、食事の支援をするなどしながら、生活に苦慮している人に寄り添う活動をしたいと考えており、区としても支援をお願いしたい。